

**ABB (注) インド 品質と正確さに注目、インドを輸出ハブのひとつに
巨大で強力な国内市場も魅力、グローバル CEO , Ulrich Spiesshofer 氏語る**

- 電力網とスマートグリッド為のインフラビジネスに注目
- ABB は、インドでは、電力とオートメーション分野に注力している。
- 電力では、伝統的な電力から再生可能エネルギー（特に太陽光）ビジネスに重点を移している。太陽光発電と風力発電の蓄電と配電ビジネスも注力している。
- 農業は、全体の電力消費の 20%を占め、灌漑で非効率な電力の使い方をしている。太陽光発電を使ったポンプをインドで開発した。
- 送電網の近代化もビジネスチャンス。
- 安価な労働力だけでなく、労働の質と正確さもインドの魅力だ。安価な労働コストと高いレベルのオートメーションがインド製造業強み。
- 4000 名のインド人技術者を雇用している。R&D 関係技術者は、1200 名にのぼる。インドは、世界中の ABB の事業の中で最大のエンジニアリングのハブだ。
- 2015 年 1 月から新体制をとる。今後数年間に企業買収を実施する。ビジネスパートナーの活用は肝要。
- 送電網では信頼性を高めることが重要。消費者の節電ビジネスも行っている。しかし利益は、発電サイドの方が大きい。
- インド事業を拡大する。インドは、国内市場と共に輸出能力とグローバル対応能力を備えている。
- アフリカ市場は、インドと中国の工場を活用している。アフリカ市場は、ヨーロッパからでは攻められない。アジアから対応すべきだ。
- インドは、ファイナンスサービスと保険ビジネスで多くのソフトウェア資源を持っている。中小企業及び大学の学部とも連携している。インドの労働資源とソフトウェアを同時に活用すれば大きなビジネス機会が期待できる。

(注) ABB:スイスに本部を置く。グループは、100 カ国以上に約 13 万人の従業員を擁し世界をリードする電力、オートメーションの技術を提供。

出所 : 2014 年 12 月 5 日 Economic Times